

令和2年3月10日

労働時間改善地方協議会委員 各位

静岡県トラック輸送における  
取引環境・労働時間改善地方協議会  
座長 丹下 博文

「第14回静岡県トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」  
の開催について（書面決議）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

標記協議会につきまして、事務局より令和2年3月10日に開催する旨ご連絡  
いたしましたが、昨今の新型コロナウイルス感染対策として、国からの各種行事  
等の自粛要請等を受け、本協議会の開催についても、御参会いただいで開催は  
中止とさせていただき、書面による決議により委員の皆様からご意見をいただく  
ことといたしました。

つきましては、下記の議題に関するご意見につきまして、別添意見書により令  
和2年3月23日までに、下記担当宛にFAXまたはメールにてご送付くださ  
い。

## 記

- 議題1：令和2年度富士地区における紙・パルプ輸送に関する実証実験について  
議題2：令和2年度KPI（重要業績評価指標）診断の募集について

### 【送付先】

協議会事務局

中部運輸局 静岡運輸支局

担当 小松田・宮木

tel 054-261-1191 fax 054-262-4179

E-mail [komatsuda-h56hd@mlit.go.jp](mailto:komatsuda-h56hd@mlit.go.jp)

[Miyaki-n5678@mlit.go.jp](mailto:Miyaki-n5678@mlit.go.jp)

## 議題1：令和2年度の富士地区における紙・パルプ輸送に関する

### 実証実験について

富士地区における紙・パルプ輸送については、以前より当地区特有の運送形態によりトラックドライバーの長時間労働が常態化しているとの懸念があったことから、紙・パルプ輸送を行っている事業者3者に対して労働時間等に関するヒアリングを実施したところ、トラックドライバーの長時間労働に関する課題が確認された(別添①)。それを踏まえて、富士地区において紙・パルプ輸送を行っていると思われる事業者(富士地区貨物運送事業協同組合加入事業者)へ向けて、労働時間等の実態把握を目的としたアンケート調査(別添②)を実施し、現在集計作業中である。このアンケートの集計結果を踏まえ、生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善へむけた実証実験を実施し、当地区における紙・パルプ輸送における課題への対応策を検討することとしたい。なお、実証実験対象事業者の選定にあたっては、次年度当初から取り組む事業であるため、事務局一任とさせていただきます。

## 議題2：令和2年度KPI(重要業績評価指標)診断の募集について

静岡県協議会において、平成28年度～平成30年度にかけてKPIを活用した経営改善の取組を実施した。その成果として、令和元年度には「トラック運送事業者におけるKPI導入の手引き」を作成し、KPI導入セミナーを実施した(令和元年11月27日及び令和2年1月16日)。

当該セミナー受講者に対し、令和2年度のKPIコンサルティング事業への参加に関するアンケートを実施したところ、参加したいという事業者が複数あったことから、令和2年度においては、コンサルティング会社に委託しKPI診断事業を行い、そこで得られた結果を基に「トラック運送事業者におけるKPI導入の手引き」の改定を行うこととしたい。

上記のとおり事務局より提案があったので、これについて委員の皆様からのご意見を頂戴したいと考えます。

## 静岡県トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会の記録

## 【平成27年度】

		日付	議題等	備考
1	<b>第1回協議会</b>	平成27年 8月7日	1. 協議会設置 2. 長時間労働の実態調査の実施について	
2	トラック実態調査 (トラック協会)	9月	トラック輸送状況の実態調査	トラック協会が20社、運転者100名を対象に実態調査(全国集計)
3	荷主ヒアリング調査	10月、11月	荷主(元請け)ヒアリング	運輸支局、労働局がトラック協会の調査結果をもとに、5社を訪問して「荷主(元請け)ヒアリング」を実施 (静岡県独自取り組み)
4	<b>第2回協議会</b>	12月10日	1. 手待ち時間が生じている荷主に関する調査 2. 荷主(元請け)ヒアリング結果について 3. パイロット事業の概要について	○トラック協会がこれまで協会員に行ってきた調査結果 ○協議会事務局が実施したヒアリング調査結果
5	荷主調査 (中部運輸局)	12月	物流現場における課題と改善点の見える化事業	中部運輸局が荷主企業を対象に関係者のコミュニケーションを観点に郵送により調査(203件)
6	<b>第3回協議会</b>	平成28年 3月4日	1. パイロット事業の概要 2. トラック輸送状況の実態調査結果報告 3. 改善点の見える化事業の調査結果報告 4. パイロット事業の進め方について	(協議事項) パイロット事業候補の公募の実施と選考を事務局に委嘱することを決議

## 【平成28年度】

7	パイロット事業 候補事業者の報告	平成28年 4月28日	静岡県パイロット事業候補事業者の2社を厚生労働省、 国土交通省に報告	(5/9)運送事業者A調査事業の荷主本社に訪問して調査事業の概要説明 (6/2)運送事業者Bと当該運送事業者の荷主企業、及び運送事業者Aの事案荷主事業場に訪問して調査事業の概要説明 (6/24)日通総研大島部長と打合せ (7/19)運送事業者Bに調査事業の概要を再度説明 (7/28)運送事業者B調査事業の荷主企業に調査事業の概要説明
---	---------------------	----------------	---------------------------------------	---

8	パイロット事業 対象事業者の 決定の連絡	6月13日	厚生労働省から静岡県パイロット事業候補事業者の2 社について調査対象者とする事の連絡	事業の予算割り振りの連絡をもって通知
9	<b>第4回協議会</b>	8月26日	1. 平成28年度パイロット事業者2者の概要報告 2. KPI導入調査事業の実施について 3. 平成29年度パイロット事業候補事業者の募集	
10	平成28年度 KPI導入調査事業 協力事業者の募集	9月15日～ 9月30日	4事業者募集に期限内に4事業者から申し出あり	
11	物流フォーラム 2016	10月20日	○協議会の経過報告 ○パイロット事業、KPI導入調査事業の概要報告 ○パネルディスカッション	トラック協会主催 トラック事業者243社、荷主企業35社参加
12	平成28年度 KPI導入調査事業 協力事業者説明会	10月20日	協力事業者4者に田村先生から説明	
13	平成29年度 パイロット事業の募集	10月20日～ 11月18日	期間内に応募なし	一般公募で応募がなかったことから、静岡労働局で対象者 を選定することになった。
14	<b>第5回協議会</b>	12月15日	1. 協議会の経過報告 2. パイロット事業の中間報告 3. KPI導入調査事業の中間報告	
15	平成29年度 パイロット事業 荷主説明	1月27日	荷主企業にパイロット事業の説明 (協議会事務局)	静岡労働局が候補荷主企業を選定 代表者から協力の承諾あり
16	平成29年度 パイロット事業 運送事業者説明	2月24日	実運送事業者にパイロット事業を説明、倉庫視察	
17	<b>第6回協議会</b>	3月10日	1. 協議会の経過報告と平成29年度スケジュール 2. パイロット事業の報告 3. KPI導入調査事業の報告 4. 29年度パイロット事業対象集団候補の決定	
18	平成29年度 パイロット事業 候補事業者の報告	3月21日	平成29年度静岡県パイロット事業候補事業者を 厚生労働省、国土交通省に報告	

【平成29年度】

19	平成29年度 パイロット事業対象 事業者の決定連絡	平成29年 4月10日	平成29年度静岡県パイロット事業候補事業者について調査対象者とするための連絡	事業の予算割り振りの連絡をもって通知
20	平成29年度 KPI導入調査事業 協力事業者の募集	4月22日～ 5月28日	4事業者募集に期限内に5事業者から申し出あり	
21	平成29年度 KPI導入調査事業 募集説明会	5月16日	○KPIについて田村先生より説明 ○平成28年度参加事業者より事例発表 ○行政の支援施策について運輸支局より説明	
22	平成29年度 KPI導入調査事業 強力事業者の決定	6月1日	応募のあった5事業者から4事業者を決定	荷種、地域、応募理由等により事務局にて検討、決定
23	<b>第7回協議会</b>	7月24日	1. 協議会の経過報告と平成29年度スケジュール 2. パイロット事業の報告 3. KPI導入調査事業の報告 4. 人手不足対策について 5. 働き方改革、最近の施策等について 6. 労働環境改善に係る広報について	
24	生産性向上セミナー	9月7日	○適正な取引条件への改善について ○トラック運送における生産性向上方策について ○中継輸送について	
25	物流フォーラム 2017	10月31日	○パイロット事業の実施事例 ○KPI導入・取組事例 ○標準貨物自動車運送約款改正等の説明	トラック協会主催 トラック事業者264社、荷主企業32社参加
26	<b>第8回協議会</b>	11月20日	1. 協議会の経過報告と平成29年度スケジュール 2. パイロット事業の報告 3. KPI導入調査事業の報告 4. 荷主向け広報について 5. 生産性向上の取組について 6. 標準貨物自動車運送約款の改正に伴う周知活動について	

27	荷主向け広報	2月～	荷主向けリーフレットの作成および新聞へ広告掲載	
28	<b>第9回協議会</b>	3月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 協議会の経過報告と平成30年度スケジュール</li> <li>2. パイロット事業の報告</li> <li>3. KPI導入調査事業の報告</li> <li>4. 第8回中央協議会について</li> <li>5. コンサルティング事業について</li> <li>6. 30年度KPI導入調査事業について</li> <li>7. 荷主向け広報の実施状況について</li> <li>8. 働き方改革の動き等について</li> </ul>	

【平成30年度】

29	平成30年度 静岡県コンサルティング事 業対象事業者の決定報告	平成30年4月	平成30年度静岡県コンサルティング事業候補事業者 について調査対象者とする事の報告	
30	平成30年度 KPI導入調査事業 実施事業者の募集	5月1日～ 5月31日	4事業者募集に期限内に4事業者から申し出あり	
31	平成30年度 KPI導入調査事業 募集説明会	5月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○KPIについて田村先生より説明</li> <li>○平成29年度実施事業者より事例発表</li> </ul>	
32	平成30年度 KPI導入調査事業 実施事業者の決定	6月4日	応募のあった4事業者を決定	
33	平成30年度 静岡県コンサルティング 事業第1回検討会	6月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンサルティング事業実施スケジュール</li> <li>○実態調査にあたっての事前準備確認</li> </ul>	荷主、実運送事業者、コンサルティング事業者、静岡労働局、静岡県トラック協会、静岡運輸支局

34	<b>第10回協議会</b>	8月2日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 協議会の経過報告と平成30年度スケジュール</li> <li>2. パイロット事業の報告</li> <li>3. KPI導入調査事業の報告</li> <li>4. コンサルティング事業の報告</li> <li>5. KPI調査事業の今後の進め方について</li> <li>6. 物流現場の視察について</li> <li>7. 自動車運送事業における「働き方改革」施策等について</li> </ol>	
35	平成30年度 静岡県コンサルティング事業第2回検討会	8月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実態調査の結果報告</li> <li>○実態調査の結果を踏まえた改善方策の方向性について</li> </ul>	荷主、実運送事業者、コンサルティング事業者、静岡労働局、静岡県トラック協会、静岡運輸支局
36	平成30年度 静岡県コンサルティング事業第3回検討会	10月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運行データの確認</li> <li>○トラック運転者の労働時間短縮に向けた施策抽出・合意</li> </ul>	荷主、実運送事業者、コンサルティング事業者、静岡県トラック協会、静岡運輸支局
37	物流フォーラム	10月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○輸送の効率化・生産性の向上に向けて</li> <li>○KPI導入・好事例</li> <li>○自動車運送事業の「働き方改革」について</li> </ul>	トラック協会主催
38	平成30年度 静岡県コンサルティング事業第4回検討会	12月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実証実験内容(計画、検証項目、スケジュール)の共有</li> </ul>	荷主、実運送事業者、コンサルティング事業者、静岡県トラック協会、静岡運輸支局
39	<b>第11回協議会</b>	1月15日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 協議会の経過報告と平成30年度スケジュール</li> <li>2. 平成30年度コンサルティング事業進捗について</li> <li>3. 平成30年度KPI事業の進捗について</li> <li>4. 荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドラインについて</li> <li>5. 働き方改革に関する状況について</li> </ol>	
40	物流倉庫視察	2月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○羽田クロノゲート見学</li> </ul>	協議会委員、関東経済産業局、静岡県トラック協議会事務局

41	平成30年度 静岡県コンサルティング事業第5回検討 会	2月18日	○実証実験結果共有 (・配車台数 ・運転手拘束時間)	荷主、実運送事業者、コンサルティング事業者、静岡運輸支 局
42	ガイドライン周知セ ミナー	2月26日	1.トラック業界を取り巻く当面する諸課題等について 2.働き方改革関連法に関する時間外労働の上限規 制について 3.荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間 労働改善に向けたガイドラインについて 4.取引環境と長時間労働改善事例の紹介	運送事業者 95社 荷主 2社 中部運輸局、静岡労働局、三菱UFJリサーチ&コンサル ティング、遠州トラック、静岡運輸支局
43	<b>第12回協議会</b>	3月14日	1.協議会の経過と平成30年度の開催計画について 2.平成30年度コンサルティング事業の報告 3.取引環境と長時間労働改善に向けたガイドライン について 4.最近のトラック行政の取組等について 5.トラック運送業の働き方改革に向けた厚生労働省の 取組みについて	
44	ガイドライン周知活動	3月11日 3月18日	1.トラック業界を取り巻く当面する諸課題等について 2.取引環境と長時間労働改善に向けたガイドライン について 3.荷主向けリーフレット 4.荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間 労働改善に向けたガイドラインについて	県下6団体 静岡県トラック協会、静岡運輸支局

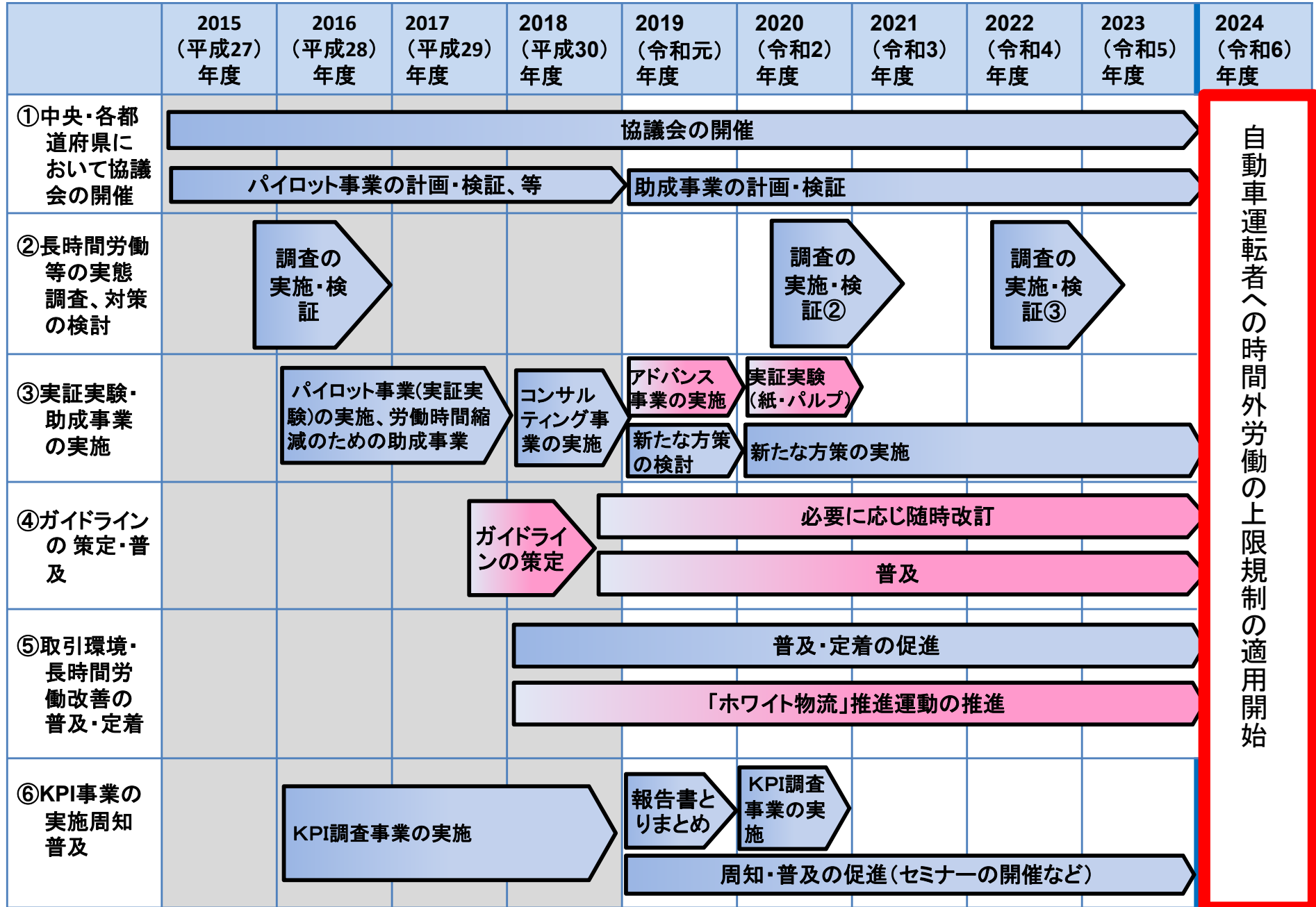
【令和元年度】

45	ホワイト物流推進運 動説明会	6月28日	1.ホワイト物流推進運動について 2.荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間 労働改善に向けたガイドラインについて	荷主企業21社 運送事業者13社 関係団体1団体 静岡運輸支局
46	<b>第13回協議会</b>	10月30日	1.協議会の経過と令和元年度の開催計画について 2.令和元年度アドバンス事業について 3.KPI事業について 4.最近のトラック運送事業に関する取組について 5.トラック運送業の働き方改革に向けた厚生労働省の 取組について	
47	KPI導入セミナー	11月27日	○KPIの概要、導入事例、活用ポイントを田村先生から 説明	静岡県トラック協会、会員事業者(9社11名)、田村経営コン サルティング



48	KPI導入セミナー	1月16日	○KPIの概要、導入事例、活用ポイントを田村先生から説明	静岡県トラック協会、会員事業者(20社22名)、田村経営コンサルティング
49	紙・パルプ輸送に関する労働時間実態調査ヒアリング	1月20日	・アンケート調査の実施について事業者向けヒアリングの実施	・実運送事業者、富士地区貨物運送協同組合 静岡県トラック協会、静岡運輸支局、コンサルティング事業者
50	荷主と運送事業者のためのトラック運転者の労働時間短縮に向けたセミナー(中止)	3月9日	1. 取引環境と労働時間の改善に向けたガイドラインについて 2. 「ホワイト物流」推進運動について 3. 改正労働基準法のポイントについて	(株)富士通総研、静岡県労働局、静岡運輸支局

# トラック輸送における取引環境・長時間労働改善に向けたロードマップ



自動車運転者への時間外労働の上限規制の適用開始

※2023(令和5年)4月には、中小企業における月60時間超の時間外労働の割増賃金率引き上げ

# トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会の今後の進め方(案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度					第10回 地方協議会				第11回 地方協議会		第12回 地方協議会	
	コンサルティング事業実施集団打合せ、実施、とりまとめ											
							第9回中央協議会開催					第10回中央協議会開催
	ガイドラインの策定								ガイドラインの普及			
令和元年度							第13回 地方協議会					第14回地方 協議会(書面)
	アドバンス事業(紙・パルプ輸送分野における課題の検証)「ホワイト物流実現国民運動の推進」											
								第11回中央協議会開催				第12回中央協議会(延期)
	ガイドラインの普及											
令和2年度		第15回 地方協議会					第16回 地方協議会					第17回 地方協議会
	紙・パルプ輸送分野における実証実験「ホワイト物流、実現国民運動の推進」											
		第12回中央協議会開催						第13回中央協議会開催			第14回中央協議会開催	
	過去の実証事業(パイロット事業、コンサルティング事業)のフォローアップ 荷主等との連携強化											

令和2年度 静岡県トラック取引環境・労働時間協議会 開催計画(案)

	第14回協議会(書面)	第15回協議会	第16回協議会
時期	令和2年3月	令和2年6月	令和2年11月
議題	1. 協議会の経過報告 2. 次年度以降の協議会の進め方について ・ ・	1. 協議会の経過報告 2. アドバンス事業について 3. KPI事業について 4. 最近のトラック運送事業に関する取組等について 5. トラック運送業の働き方改革に向けた厚生労働省の取組について	1. 協議会の経過報告 2. アドバンス事業について 3. KPI事業について 4. 最近のトラック運送事業に関する取組等について 5. トラック運送業の働き方改革に向けた厚生労働省の取組について

## 静岡県地方協議会における「紙・パルプ」輸送に関するヒアリング調査報告

1. 日 時 令和2年1月20日（月）10:00～12:00

2. 場 所 富士地区貨物運送協同組合 1階 会議室

### 3. 参加者

紙関係輸送事業者3社

A社、B社、C社

運輸支局

小松田首席、宮木専門官

(株)日通総研

大島取締役、大原研究員

トラック協会

窪田専務、山下常務

富士貨協

梅原参事、中村事務局長

### 4. 内 容

(1)趣旨説明、出席者紹介（窪田専務）

(2)地方協議会・ヒアリングの経緯説明（小松田首席）

(3)ヒアリング・実態調査説明（大島取締役）

(4)各社の運行形態・現状等について説明を求めヒアリングを実施

A社

- ・当社は家庭紙の輸送。月曜から土曜まで稼働している。メーカーから工場までの積み込みを前日の夕方実施し翌日出庫。東北運行が主体で約10時間が基本。積み下ろしの時間が分からないので早く出るドライバーが多い。

大島取締役質問

- ・家庭紙は何を運んでいるのか → トイレットペーパーを手積みで運んでいる。
- ・帰り荷は → 古紙が大半。
- ・計画的に積み込みは出来ないものか → 先方の都合で積み込み・積み下ろしの時間が変わる。
- ・この関係の仕事の台数は → 大型50台でほぼ同じ仕事。

B社

- ・当社は板紙が主体、関東・関西・中京方面が主流、運行内容はA社とほぼ同じ、荷待ちが問題でこれが改善すればほぼ直る。荷待ちの問題は荷主も理解している。関東以外は距離があるので前日にオーダーしてもらえようになった。

#### 大島取締役質問

- ・オーダーが早くもらえれば早く終われるのか → そのとおり。

#### C社

- ・当社も板紙で運行形態もB社とほぼ同じ。関西は距離があるので荷物が倉庫に保管できる。関東は距離が近いのでダメ。最終オーダーは15時ごろとなる。

#### B社

- ・現地に行って待たされるのでドライバーは早く出してしまう。

#### 大島取締役

- ・前日積み込みで翌日出発、何箇所降ろしなのか → 2～3箇所降ろしが普通。

#### B社

- ・古紙は積み込みより積み降ろしの方が時間がかかる。古紙屋からメーカーが買う。15時の積み込みでも手待ちはある。一日の出荷量に対して荷役作業員が少ないと感じる。

#### C社

- ・管理もほぼバーコード管理のため時間がかかる。

#### B社

- ・積み込みも数か所になるので手待ちがそのたび発生する。

#### A社

- ・手待ちが発生する状況がある中で16時間の拘束は厳しい。コンプライアンスをやるには運賃の是正が必要。メーカーもさることながら、帰り荷の運賃が安すぎることも問題。

#### B社

- ・荷主のコスト意識、時間意識が低い。一時横行した過積載がピタリと無くなった。荷主に対する処分が厳しくなったからだが、労働時間に対しても監督署が立ち入りすれば良い。

#### C社

- ・家庭紙、板紙、段ボールの三種類あるが、中でも酷いのはダンボール関係で16時ごろのオーダーとなる。夜走って朝届ける形態がこの地区のほとんどで、帰りに古紙を持ってくるといった全事業者ほぼ同じ形態である。古紙はトラックが集中して同じ時間に来るので、通常2時間の待機は当たり前で、5～6時間待たされる時もある。皆同じ運行形態なので、午前中の古紙降ろしはガラガラである。その時間帯は富士のトラックは皆東京にいるからで、午後に集中する。また、古紙降ろしも降ろす場がいっぱいになると違う場所に指示されるので、また時間がかかる。メーカーの設備（降ろし場所）の要望や計画的なオーダーの話は都度しているが、理解は示すものの、荷主はほぼメーカーの子会社なので、メーカーにまでしっかり話しが届いているか疑問を感じる。結局最終ユーザーがOKを出さなければ、時間は短くならない。

#### 大島取締役

- ・実態調査の結果を踏まえて要望や課題点を地方協議会等からいかに上に上げるかが重要である。

#### C社

- ・ホワイト物流に物流子会社が自ら旗振り役でやっているの、意識はあると思うが、果たしてメーカーが設備投資や平準化のオーダーを計画的にやっていただきたいという実運送会社の声が届いているのか分からない。

B社

- ・古紙は月間計画が決まっているので、計画発注は出来ると思う。

A社

- ・ただ、古紙は海外などにも影響されるので、値段によっても計画が変わってくると思う。

C社

- ・そもそも荷捌き場という意識が無いと思う。

B社

- ・紙関係は、まずは場所が必要。

A社

- ・家庭紙は手積みもあるものの、一部はパレット化している。逆に手積み料金を貰える運賃形態になれば良いと思う。

C社

- ・当社は段ボールは関東、板紙は関西が主流だが、降ろし作業代を着荷主に求めるのも難しい。

大島取締役

- ・降ろし先の作業料まで、発荷主が支払うということが基本となっている。

小松田首席

- ・その通りである。

大島取締役

- ・実際は商品の中に物流費が入るのが本来で、欧米では実際そうになっている。日本では現状では買い手が負担している。

A社

- ・働き方改革が運送事業者には本当に出来るのか。標準的な運賃が示されることになるが、安全はしっかり確保出来るのか。働き方改革は大手には可能であるが、下請けでは難しいと感じる。

大島取締役

- ・本日のヒアリングを参考に調査表を作成させていただき、富士貨協の紙関係の輸送業者を中心に実態調査をしたいので、対象リストの抽出を含めて宜しくお願いしたい。

(5)閉会

以上

令和2年2月●日

## 会 員 殿

トラック輸送における取引環境・労働時間改善静岡県地方協議会  
(事務局) 国土交通省中部運輸局静岡運輸支局  
厚生労働省静岡労働局  
一般社団法人静岡県トラック協会

### 静岡県下（主に富士地区）のトラック運送事業における 紙・パルプ輸送に関する労働時間等実態調査ご協力のお願について

時下、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、トラック運送業界では、労働力不足が大きな問題となっており、物流現場の取引環境や労働時間改善が急務となっております。こうした中、令和元年度のトラック輸送における取引環境・労働時間改善静岡県地方協議会における取組みとして、紙・パルプを取り扱う運送事業者に対してアンケート調査を行い、長時間労働の実態や課題等を把握し、紙・パルプ輸送における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に向けた取組み方策等について検討することといたしました。

つきましては、業務ご多忙の折大変恐縮に存じますが、本調査にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。なお、本調査の集計・分析につきましては、㈱日通総合研究所に委託しておりますことを申し添えます。

#### ご回答にあたって

1. 本調査は『紙・パルプの輸送に従事するトラック運送事業のドライバー』の労働時間等の実態についての調査ですので、複数の事業を兼業している場合でも『紙・パルプのトラック輸送事業』についてのみお答え下さい。
2. 今回の調査では、令和2年1月の実態についてご回答下さい。
3. 回答は、一緒に送付しました『回答用紙』にご記入の上、令和2年2月●日（●）までにファクシミリ（03-6251-6450）にて、㈱日通総合研究所宛にご送付願います。
4. 本調査の情報のとりまとめについては、個人情報の保護に関する法令等に基づき、取り扱いには十分注意し、上記の目的以外には使用しないことを申し添えます。
5. 後日、より詳しい実態を把握するため、訪問による聞き取り調査をお願いする可能性がございます。併せてご協力いただければ幸いです。
6. 本調査についてのお問合せ等は、下記の担当までお願いいたします。

㈱日通総合研究所 大原（電話 090-1551-3466）、大島（電話 050-3646-1981）

注意：本調査における『紙・パルプ』は、以下を対象とします。

新聞巻取紙・印刷・情報用紙、包装用紙、衛生用紙（家庭紙）、雑種紙（工業用、家庭用）  
段ボール原紙、段ボール（完成品）、紙器用板紙（白板紙、色板紙、チップボール等）  
雑板紙（建材原紙、紙管原紙、その他板紙）、古紙 等



静岡県下（主に富士地区）のトラック運送事業における紙・パルプ輸送に関する労働時間等実態調査

※本調査の全ての項目は、静岡県内（主に富士地区）のトラック運送事業が対象です。県外事業所及びトラック運送以外の事業は除外してご回答下さい。

※この調査票に回答頂いた内容は、本調査の目的以外には使用することはありません。

問 1. 会社の概要等をご記入下さい。（輸送品目については、1又は2の何れかに○を付けた後、設問にお答えください。）

保有車 両台数	両 ※令和2年1月末日現在、エン ジン付きのみ、トレラーシャ ーは除く	輸送 品目	1. 紙・パルプを輸送している ⇒ 最も輸送量の多い品目に◎印を、量の多少に関わらず輸送している品目に○印(複数可)をつけて下さい。 ①新聞巻取紙・印刷・情報用紙 ②包装用紙 ③衛生用紙 (家庭紙) ④雑種紙 (工業用、家庭用) ⑤段ボール原紙 ⑥段ボール (完成品) ⑦紙器用板紙 (白板紙、色板紙、チップボール等) ⑧雑板紙 (建材原紙、紙管原紙、その他板紙) ⑨古紙 ⑩その他 (上記以外の品目：具体的に )
両台数	両 ※令和2年1月末日現在、エン ジン付きのみ、トレラーシャ ーは除く	輸送 品目	2. 紙・パルプは輸送していない ⇒ ここで調査は終了です。ご協力ありがとうございました。本ページのみファックス送信してください。

問 2. 問 1 で◎を付けた最も輸送量の多い品目の『紙・パルプ輸送』について、令和2年1月末日の実態をお答え下さい。

問 2-1. 『最も輸送量の多い紙・パルプの輸送』について、長時間労働は発生していますか。該当する番号1つに○印をつけて下さい。

- ①長時間労働が発生している
- ②過去に発生していたが改善した
- ③長時間労働は発生していない

→ 問 2-2 に進んで下さい。

→ 1) どこで、どの程度の長時間労働が発生していますか。

【どこで】(該当する番号全て) ①発荷主で ②着荷主で ③その他 (具体的に )

【どの程度】(該当する番号1つ) ①拘束時間が16時間超 ②拘束時間が13～16時間 ③拘束時間が9～13時間 ④拘束時間が9時間以内

2) 長時間労働の原因はどこにありますか。該当する番号全てに○印をつけて下さい。

- ①発荷主の出荷時間が遅れ、荷待ち時間が発生する
- ②発荷主からの配車指示が遅く、計画的配車ができない
- ③発荷主からの配車指示が突発的で計画的配車ができない
- ④発荷主の要求するリードタイム (輸送時間) が短すぎる
- ⑤発荷主での荷役に時間がかかる
- ⑥着荷主での荷役に時間がかかる
- ⑦発荷主で荷積み待ち時間が発生する
- ⑧着荷主で荷卸しの待ち時間が発生する
- ⑨コストを下げるため、一般道路を走行せざるを得ない
- ⑩その他 (具体的に )

3) 長時間労働の原因に対して対策を講じていますか。該当する番号全てに○印をつけて下さい。

- ①発荷主に協力を依頼している    ②元請け運送事業者に協力を依頼している    ③着荷主に協力を依頼している  
 ④発荷主と対策中である    ⑤元請け運送事業者と対策中である    ⑥着荷主と対策中である  
 ⑦自社で対策中である    ⑧対策を講じていない    ⑨対策を講じることができない

→ 4) 対策を具体的にご教示下さい

→ 5) 対策を講じていない、できない理由をご教示下さい

問2-2. 過去に発生していたが改善した場合、又は長時間労働が発生していない場合、どのような対策を講じましたか。該当する番号全てに○印をつけて下さい。

- ①発荷主と対策した    ②元請け運送事業者と対策した    ③着荷主と対策した    ④自社で対策した

→ 2) 対策を具体的にご教示下さい

問3. 問1で◎を付けた最も輸送量の多い品目の『紙・パルプ輸送』について、長時間労働の改善に向けた発荷主及び着荷主の理解度や協力度合はどうか。該当する番号全てに○印をつけて下さい。

	理解の程度	協力の程度
発荷主	①非常に高い ②高い ③普通 ④低い ⑤非常に低い	①非常に高い ②高い ③普通 ④低い ⑤非常に低い
元請け運送事業者	①非常に高い ②高い ③普通 ④低い ⑤非常に低い	①非常に高い ②高い ③普通 ④低い ⑤非常に低い
着荷主	①非常に高い ②高い ③普通 ④低い ⑤非常に低い	①非常に高い ②高い ③普通 ④低い ⑤非常に低い

問4. 問1で◎を付けた最も輸送量の多い品目の『紙・パルプ輸送』について、長時間労働の改善に向けて発荷主及び着荷主にどのような協力を望みますか。該当する番号全てに○印をつけて下さい。

- ①予約受付システムの導入    ②パレット等の活用    ③発荷主からの入出荷情報等の事前提供    ④幹線輸送部分と集荷配送部分の分離  
 ⑤集荷先や配送先の集約    ⑥運転以外の作業部分の分離    ⑦出荷に合わせた生産・荷造り等    ⑧荷主側の施設の改善  
 ⑨十分なリードタイムの確保による安定した輸送の確保    ⑩高速道路の利用    ⑪混雑時を避けた配送    ⑫発注量の平準化    ⑬モーダルシフト  
 ⑭その他（具体的に）

問5. 問1で◎を付けた最も輸送量の多い品目の『紙・パルプ輸送』について、長時間労働の改善に向けて発荷主及び着荷主と長時間労働の改善に向けた検討の場を設けていますか。該当する番号全てに○印をつけて下さい。

発荷主	①設けている	②設けていない	③現在検討中
元請け運送事業者	①設けている	②設けていない	③現在検討中
着荷主	①設けている	②設けていない	③現在検討中

問6. 貴事業所が関わる紙・パルプ輸送における「ホワイト物流」推進運動の旗振り役（中心的な役割）に最も該当する番号に◎印を、該当する番号すべてに○印(複数可)をつけて下さい。

- ①発荷主      ②元受け運送事業者      ③着荷主      ④自社（運送事業者）      ⑤その他（具体的に： )

問7. 『紙・パルプ輸送』の長時間労働の改善に向けてのご意見、ご要望等がございましたら、ご自由にご記入下さい。

問8. 貴事業所名・ご回答者についてご記入下さい。

貴社名		
ご回答者	ご氏名	ご連絡先 電話番号
	部署名 お役職名	

◆ご協力ありがとうございました◆